



国際交流

国際ワークキャンプ波野2006が、今年は世界各国から6人(カナダ・フランス・スペイン・ロシア・韓国など)、日本人6人の計12人で開催されます。この国際ワークキャンプは以前旧波野村で7回実施されており、世界各国の方と日本人大学生が、地元との交流による地域活性化と国際交流意識の高揚を目指して、イベントに参加したり、清掃活動のボランティア活動、農業体験等を行います。地元の方々のご協力を得ながら、歓迎会やホームステイを通じて、国際交流を図るよい機会となっています。なみの高原納涼まつりなどにも参加されますので、皆さんも気軽に声をかけて国際交流に参加してみませんか？以下のような企画もあります。

外国のお兄さんお姉さんとキャンプに挑戦しよう！！

今年の夏休み、外国のお兄さん・お姉さんと一緒にキャンプに挑戦してみませんか？テントでお泊まりや、野外炊飯、自然観察、プール遊びなど、楽しい体験が一杯です。ぜひご参加下さい。

日 時 8月12・13日(1泊2日) 場 所 やすらぎ交流館グラウンド
対象者及び定員 主に小学生3～6年生(中学生・高校生も可) 参加費 3,000円
申し込み・問い合わせ先 なみの高原やすらぎ交流館
TEL23-0555(担当:望月)※8月10日まで



阿蘇高校に短期留学生

アメリカの同級生に刺激



ナン メラニー

カリフォルニア州からNUNN, Melanieさん(16歳)が短期留学で、6月20日～8月2日の間、阿蘇市に滞在しました。メラニーさんは、乙姫の栗原成和さんの家にホームステイし阿蘇高校に通学。一年生のクラスに入ったメラニーさんは「私は、日本の礼儀正しさ、態度、文化を尊敬し留学をしました。」と異文化を学ぶかわら、英語の授業では、手本になって生徒たちに本場の英語を披露。同クラスの生徒たちは「アメリカとの文化の違いに驚いた、自分たちも留学がしてみたくなった。」「色々話したかった、もっと英語を勉強しないと」など、様々な面で刺激になったようです。

文化を学ぶかわら、英語の授業では、手本になって生徒たちに本場の英語を披露。同クラスの生徒たちは「アメリカとの文化の違いに驚いた、自分たちも留学がしてみたくなった。」「色々話したかった、もっと英語を勉強しないと」など、様々な面で刺激になったようです。

行き先はニュージーランド！

国際交流で自分自身を磨く

7月19日、ラボ国際交流活動に参加する阿蘇市内の生徒3名が、阿蘇市教育委員会を表敬訪問しました。今回の国際交流活動の行き先はニュージーランド。一人一人が訪問先の家庭に別々にホームステイし、自前の切り絵や絵本を用いて日本の文化の紹介などを行い、自分の英語力を試したり、家族の一員として生活をともにして異文化を知り、自分自身が成長することを目的としています。参加する3名も「発音の違いを勉強したい。」「日本の学校との違いを知りたい。」など意欲満々のようです。7月22日に全国から60名が集まり、その後ニュージーランドに向けて出発します。期間は約1ヶ月です。



ラボ国際交流活動とは…

乳幼児期から大学生年代までつづく、ラボパーティ教育活動のなかで、10代の子どもたちに用意された国際教育プログラムです。

財団法人ラボ国際交流センター